

AMG

MANUFACTURE

●ドライ用

新発売

汗抜き洗剤
FOR DRY-CLEANING

かん せん おろ
乾洗王

夏の汗ジミ・水汚れもドライでバッチ洗い

Wウオッシュ(ドライ+水洗い)するなら 1回洗いでOK

■ サラッとすっきり、水洗並みの汗抜きドライ。

汗ジミの成分「塩分」は「水」なしでは取れません。

しかし、只の水をソープと混ぜてドライに入れたのでは、シワや縮み、色泣き・型くずれ等が起きてしまいます。

不安定な水分の作用は、かえって衣類がベトついたり、液が汚れてフィルター的使用寿命が短くなってしまいます。

乾洗王は、有馬義の水と油の新技术を駆使してドライの中で安定した水分の利用を可能にしました。また水の中に、水洗で使われている洗剤を配合した結果、洗浄力が一段と向上しました。水洗並みのサラッとした洗い上がりと水溶性の高い洗浄力が特徴です。

■ 汗抜き洗いは、ドライでバッチリ能率アップ。

夏物の汗抜きには、これまでの水洗・ウエット洗いが常識と言われてきました。また最近では、水洗+ドライのWウオッシュ(2回洗い)も出現して、大変手間のかかる洗い方になってきました。

しかし、「水」に落とすとやはり「乾燥」と「仕上げ」に時間と手間がかかり、能率が落ちてしまいます。

ドライの特徴を生かし、乾洗王を1回添加するだけで汗ジミや水汚れがドライでスッキリ洗い上がるようになってきました。

■ いまスグに、お手軽に、便利に使えます。

最初のバッチ洗いの時にワッシャーに乾洗王を入れるだけです。ソープはそのまま使って洗っていただくだけの簡単な使い方でドライでも汗抜きクリーニングができるようになりました。



AMG汗ぬきドライシステム

「汗ぬきドライ」はドライの中で、水溶性(汗など)汚れに対しての洗浄力を極限まで高めた洗浄システムです。汗ぬき洗剤「乾洗王」と「シリコンソープ」を使用することにより、洗浄力はもちろんのこと、衣類の安全性、仕上げ性、安全な溶剤管理まで可能にします。

1. シリコンソープ (チャージ用ドライソープ)

- ① 毎回洗浄時 …… 使用ドライ機処理量(kg) × 3~4cc
 例) 10K の場合 30~40cc (汗ぬき時=100~125cc)
 20K の場合 60~80cc (汗ぬき時=200~250cc)
- ② カートリッジ交換時 …… 470サイズ1本に対して1.5~2ℓ
- ③ 新液追加時 …… 新液追加の0.5%~1.0%
 例) 100ℓ追加時 …… 500~1000cc



2. 乾洗王 (水溶性洗浄剤、汗ぬき剤)

- 汗ぬき、または汚れの強い衣類に対して、バッチ洗浄時にワッシャーに投入します。
- 投入量 …… バッチ洗浄時溶剤汲み上げ量に対して0.5%~1%
 例) 10K のドライ機の場合 約 200~300cc
 20K のドライ機の場合 約 400~500cc

※ 自動バッチの液位が多すぎる場合は手動で行うと効果的です



【洗浄プログラム】 …… バッチ 7~12分 → オーバーフロー 5~10分

※必ずバッチ洗浄時にベースタンクではなくワッシャーに乾洗王を投入してください。

カップを使い手で投入するか、自動投入機をご用意下さい。

※目に見える汚れ(強い汚れ)は乾洗王またはエキスパートの原液を直接その部分にスプレーまたは塗布すると、より高いレベルの汗ぬきドライが可能になります。

※乾洗王を使用する場合、特に染色堅牢度の特に弱いもの(レーヨン、シルク100%の原色)や カシミア、アンゴラ、モヘヤ、新合成繊維等は乾洗王の使用量を少なくするなど注意して下さい。